

2007年8月  
NO5

ディレクトフォース  
DIRECTFORCE

〒100-0003  
千代田区一ツ橋1-1-1  
パレスサイドビル9F  
電話03-5288-7560  
発行人・水野 勝  
印刷・㈱ケーブリント

# DF NOW

## DF創立5周年を迎えて●水野勝

### 「手造り」の5年から

### 会員数千名を目指す5年へ

「ディレクトフォース設立5周年記念総会」を迎え、誠に喜ばしく思います。

この間、年間100名前後で会員が増え続け、8月現在登録数530名、実働460名となりました。

ご承知の通り、中間法人ディレクトフォースでは、会員を募り、自己研鑽と相互の懇親の推進を図り、㈱DFマネジメントでは、事業活動を推進して参りました。この8月末、両法人ともに年度決算を行い、お陰さまで、拡大基調を続けながら今期も終わる見込みであります。

#### DFを支えてきた三つの要素

この間、ディレクトフォースの活動を支えてきたものは何であったのか、につき考えてみます。

まず第一に、ベースにあるのは「無私」の精神だろうと思います。無私とは無色透明を意味しません。つまり、何も他に出来ないから、ディレクトフォースでもやってみるか、ということではなく、何か前向きに取り組めるものを求めてきたと思います。その気持ち、かねてから申し上げてきた「経営自立と社会貢献」というディレクトフォースのテーマに共鳴されたからだと思っています。

#### 新しい5年に向けて

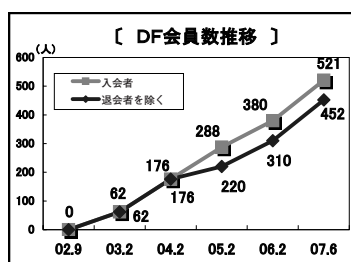
見えない何かであり、それがディレクトフォースが誇れるものではないでしょうか。

先般ホームページでも述べましたが、今期をもって、私と横井事務局長は退任することいたしました。5年が長い区切りだと思えます。この種の活動は、今後も永遠に続くものであつて欲しいと思つており、そのためにも、人心を一新し、高い志を持ち続け、マネリ化を未然に防ぐべきだと信ずるからです。

これからの5年はどうか？  
良くも悪くも、今までの5年は「手造り」でした。お互いの顔も分かり合

え、密度の濃いお付き合いもやろうと思えば出来ました。しかし、会員数も500名と、数千名では、運営の仕方は変わってくると思えます。今後参加する会員の心構えも変わるかもしれません。当然のことながら、組織も変化を迫られるでしょう。

新しいマネジメントの皆さんに、変わらぬご協力をお願いいたします。



この8月でDFに会員登録して4年2ヶ月になります。入会時は私も57歳でDFには50歳代はまだ数名でした。いろいろな事情で60歳を待たずに大企業生活からリタイアないし決別した年代です。

その後DFの中で知己を得た44年卒メンバーで「志士の会」などと称し、お互いに言いたいことを言い、刺激しあうという素晴らしい関係も持たせていただきました。

#### 林住期・多角化人生

近藤 勝重

のですから、基本的に何事につけ「多角化」主義者なのでしょう。スポーツはテニス・ゴルフ・太極拳、趣味は読書・ピアノ・これから絵画、仕事は複数の会社の非常勤役員稼業、DF活動は監査役部会・環境問題研究会・サーチ委員会・テニス同好

会・ゴルフ同好会・美術同好会と少々間口を広げすぎています。でも、この「多角化人生」のおかげで、企業生活時代以上の人間関係に恵まれています。有り難いことだと感謝しています。

林住期の後は「遊行期」で死を迎える準備を始める時期。75歳を過ぎれば長生きしようという気は今は持っていないで、今から死期を早める準備をしています。そのためにタバコを大いに楽しみ、禁煙はしないと誓っています。林住期を悔いなく過ごしていれば、充分なのです。

座石の銘「春風以人接 秋霜以自慎」(春風を以って人に接し、秋霜を以って自らを慎む)

## 住宅投資の落ち込みと サブプライムローン破綻による 米国発世界経済後退の危険性

講師・中前 忠氏

講師は中前国際経済研究所代表。氏が「サブプライムローンと米国経済」というテーマで講義。

氏によると、米国経済の成長を支えてきた住宅投資がここに来て大きく落ち込みはじめており、住宅価格上昇を前提にして、信用力の劣る人たちに無担保・無審査で貸し出されてきたサブプライムローンが破綻するリスクが高まりつつあるという。具体的な数字で見ると次のようになる。

住宅ローン借入れと住宅投資の差額は05年第3四半期で5400億ドルに達しており、このうち約半分が消費に回ったといわれる。住宅ローンの激減により、アメリカのGDP12兆ドルの約2・5%の消費が消えることになる。

また、住宅投資のGDPに占める割合は、05年第4四半期には91年の第1四半期のほぼ倍の6・3%まで上がった。



中前氏の予測が的中しそうな情勢に

「司法制度改革は内閣の重要課題」と指摘し、司法制度改革審議会が発足。時代に沿った司法のあり方が模索されるようになった。

実際に、横田基地騒音訴訟、利息制限法の解釈問題、在外邦人の選挙権の問題など、時代の価値観の変容を背景に法の解釈を広げている判例が増えている。

韓国の反日感情は骨肉的な感情があり、それだけに近い将来改善されるということは期待できない。

先年の、北京、上海でのデモによる日本大使館への投石事件はその象徴で、火をつければ燃え上がる不満層が堆積していることが要因である。

## 社会の変化、価値観の多様化に 対応する司法のあり方と制度改革

講師・滝井繁男氏

講師は法曹界で長年活躍され最高裁の判事を務められた弁護士。司法はこれまで、法的安定性を重視するあまり保守的、消極的になりがちだったが、社会の変化、個人の価値観や行動の多様化に対応すべくどう変わってきているかを具体的に示した。



司法改革の意義をわかりやすく解説

裁判所が法形成の上で担う役割は大きくなってきている。

まずは日韓関係。韓国の反日の背景には、韓国特有の血族ナシヨナリズムがある。韓国は、半島国家という地政学的な理由から、血族的関係を強くしなければ国家として生きていけなかった。つまり、韓国の反日感情は骨肉的な感情があり、それだけに近い将来改善されるということは期待できない。

このような状況を勘案すると日本の東アジア外交は、乗り越えたい状況がまだまだ続くと見たほうが良い。

## 韓国の血族ナシヨナリズム 中国の人為的対日に対抗できるか

講師・渡辺利夫氏

講師は拓殖大学の学長。「最近の東アジア情勢」と題して、今後の日韓、日中の関係のあり方を聞いた。

の事情においては、農村から都市に出てきた民工という貧困層の不満の捌け口として反日が利用されている。



懇親会で会員と懇談する渡辺氏(中央)

工件数、完工件数、新築一戸建て販売件数ともに急激に減少している。これらの変動によって、米国経済が後退する懸念があり、対米輸出に依存する国々、ひいては世界経済に影響が出る可能性がある」と指摘。

さらには、さまざまなことが原因となつて、金融の過剰流動性が発生しており、異常な信用創造が行われ、そのことが起点となつて、現状は活況を呈する世界経済が後退する危険性も指摘する内容であった。

そして、司法改革の大きな目玉が裁判員制度である。この制度は多々課題を抱えているが、国民が司法に関心を持つという意味では、課題をひとつずつ解決しつつ、定着させていかなければならない重要な制度である。

# 事務局だより

## 環境問題への取組みについて

本年2月の「DFNOW」第3号に、環境問題への取組みについての記事が掲載されています。その後活動が具体化してきましたので、概要をご報告します。

まず、この半年間環境問題研究会という名のもとに、世話役14名が、集まって議論してきました。世に環境グループが多い中で、当面はできることからスタートするという方向性を確認し、活動の第一弾として打ち出されたのが「ミニ勉強会」です。6月11日のキックオフミーティング兼第1回勉強会では、水野代表理事の挨拶に次いで、嶋矢志郎氏が環境問題全般について講演をされました。

第2回は7月23日に開催され、石館陸男氏が、世界のエネルギーの現状と新エネルギーについて話をされました。第3回は、9月11日に大谷浩一氏がリサイクルビジネスについて話をされます。また、第4回は、11月1日大屋峻氏による土壌汚染の話題です。以上の講師はすべてDFの会員です。

この後も、水の問題、森林の再生、海洋汚染、環境会計、環境教育、京都議定書等々を取り上げます。

ミニ勉強会の成果が出版物になることも夢ではないでしょうし、企業や市民講座等での講演に発展するチャンス

もあります。

活動の第二弾は間伐作業です。草津の国有林での間伐作業を10月11日から12日にわたって行う主旨でご案内したところ、50名の定員がすぐに一杯になりました。

今後、地域や趣向を変え、こうした体験的な活動を企画していく予定です。

第三弾は、千代田区桜再生運動への協賛です。DFの事務所がある千代田区には、桜の木がたくさんあり、人々の目を楽させています。しかし、この桜の木が老朽化しており、千代田区では、桜の再生運動を推進しています。これに呼応して、まず桜の木を5本寄贈します。また、桜再生の資金として、会員の皆様から寄付を募り、集まった額と同額をDFが加えて、協賛金として寄付します。7月31日締め切りで、85名の方から、25万円をご寄付いただきましたので、合計50万円、植樹の寄付と合わせて、総計100万円となりました。

第四弾として、企画を進めているのは、環境に関する施設の見学会です。荏原製作所のごみ処理の現場、アサヒビールのごみゼロ取組み現場、水処理の現場、バイオマス発電の現場等々を訪ねるプランを近いうちにご案内できるといいます。

先に述べた14名の世話役とは別に、新たに14名の方が世話役として手伝ってほしいと名乗りをあげておられます。皆さんの熱意と意欲を強く感じます。組織としての方向性も検討し、本当に世に評価される活動を実現していきたいものです。

## ◆会員の著書◆

多数の会員の方が著書を発行しています。今回、会員の方にアンケートをお願いして回答をいただいた方を掲載いたしました。(書籍のみに限りしました。五十音順)

- 猪熊 建夫 「日本のコンテンツビジネス：ネット時代にどう変わる」(新風舎)
- 上田 和勇 「企業価値創造型リスクマネジメント」(白桃書房)「持続可能型保険企業への変貌」(同文館)
- 上野 正安(翻訳) 「クライシス・マネジメント」(徳間書店)「経済はどうすれば成長するのか」(信頼の研究)「アメリカの貧困問題」(以上、シユプリンガー・フェアラーク社)
- 海老名 誠 「WTO加盟で中国経済が変わる」(東洋経済新報社)
- 大橋 光博 「小さい、ゆつくりでいいーコミュニティビジネスが元気な理由」(ビジネス社)
- 小笠原 嗣雄 「歌のある日々」(千代田永田書房)
- 唐沢 憲正 「アメリカ駐在員引継書」(ビジネスマンから見たアメリカの本質)(文芸社)
- 北野 富士夫 「構造改革を阻む村社会文化」(日本文学館)
- 網卷 康史 「国際取引法」(新版)「契約のルールを求めて」(国際契約ルールの誕生)(以上、同文館出版)「国際商取引」(商学と法学の学術的ビジネス論)「貿易経営行動」(国際プロジェクト・ビジネス)(以上、文眞堂)「国際商取引事典」(中央経済社)

## 典(中央経済社)

- 齋藤 昭 「ピアリング力より発音力」(近代文芸社)
- 佐藤 満 「超成功」(冒険心をもとう)「けんかは最終ラウンドで勝負」(以上、ダイヤモンド社)「週末農夫の痛快生活」(日本実業出版社)「壁を破る発想」(日経B.P.社)
- 篠原 寿一 「土と基礎のコンピュータ・プログラム」(土質工学会)
- 角 忠夫(翻訳) 「改訂 エンジニアリングマネージャー」(強き技術系管理者への道)(日科技連出版社)
- 住友 晃宏(松下氏と共著) 「エグゼクティブ・コーチング」(プレジデント社)
- 瀬谷 洋子 「エンパワーメントのビジネス・コミュニケーション」(文芸社)「自分を生かすコミュニケーション術」(近代文芸社)
- 高木 康之 「バイケミ農業理論」(バイケミ農業講和録)(自費出版)
- 田中 良知 「マーケティング監査ハンドブック」(日本能率協会マネージメントセンター)
- 土屋 繁 「自民党派閥興亡史」(日の残り昏るるに未だ遠し)「還暦からの野次馬日記」(以上、花伝社)「日本を決めた政治家の名言・妄言・失言」(角川書店)
- 富永 宏夫 「5分間ストレス解消法」(東洋出版)「かんたんストレス解消法」(財界研究所)
- 中塚 晴夫 「四国お遍路さん ふれあいの歩き旅

## (星雲社)

- 中村 洋明 「航路機と設計技術」(大河出版)
- 西中 眞二郎 「日本語雑記帳」(ことば随筆)「新風舎」(市町村盛衰記)「データが語る」(日本の姿)「(出版文化社)「歌集・春の道」(砂子屋書房)
- 福元 守 「薬品相互作用の臨床」(図表による薬理学)「最新知識の自己評価、クリニカルファーマシー」(地人書館)
- 藤野 忠彦 「ある信託マンの足あと」(自費出版)
- 星野 邦夫 「外為渉外ハンドブック」(ビジネス教育出版社)
- 松下 信武(住友氏と共著) 「エグゼクティブ・コーチング」(プレジデント社)
- 宮田 進 「英国鉄道紀行2万キロ」(英国鉄道完乗への挑戦)(成山堂書店)
- 村井 敏 「業績を上げる会計」(PHP研究所)
- 「独立行政法人の会計がよくわかる本」(減損会計がよくわかる本)(以上、同文館出版)
- 百瀬 格 「韓国が死んでも日本に追いつけない18の理由」(やっぱ韓国が死んでも日本に追いつけない18の理由)(以上、文藝春秋)「韓国は変わった、日本はどうする」(PHP研究所)
- 山本 紘三 「腐敗と寛容」(インドネシア・ビジネス)(東洋経済新報社)
- 横山 寛美 「ケースで学ぶ経営戦略」(シグマベイクヤピタル社)

新入会員紹介(5月〜7月入会)

①生年(西暦) ②住所③経歴④学歴⑤専門・特技・趣味など

〔5月入会〕

本田 淳治 ①44年②東京③富士銀行  
取締役・岩田屋副社長・富士銀行生協  
理事長・みずほ信用保証副社長・みず  
ほ総研監査役・キョーリン監査役・富  
士投信投資顧問監査役④東大法⑤財  
務・経営企画・企業再生

山中 敏宏 ①45年②東京③日立製作  
所自動車機器事業部拡販推進センター  
長④日大法⑤営業企画・営業開発推  
進・事業商品企画

桜井 邦広 ①40年②東京③電通海外  
事業統括局長・電通オセアニア社長・  
アド・コンシエルジュ代表・オーワン  
社長④東大法⑤人事・労務・総務・広  
報・IR

松村 貞浩 ①46年②東京③日産デー  
ーゼル西日本担当部長・日産デーゼ  
ル福岡販売社長・九州日産デーゼル  
社長・関東日産デーゼル社長④成蹊  
大工⑤人事・労務・総務・物流ロジス  
ティックス・経営企画・営業企画・営  
業開発推進

佐藤 信一 ①48年②東京③クラリオ

ン・クラリオン中部販売社長・クラリ  
オンソフト社長・サトウアンドアソシ  
エイツ代表④早大法⑤経営企画・営業  
企画・営業開発推進・事業商品企画

福本 昌弘 ①38年②神奈川③伊藤忠  
商事常務取締役名古屋支社長・ATC  
専務取締役④京都市大⑤合成樹脂分野

渡辺 壮嘉 ①43年②東京③丸紅常務  
取締役インドネシア総代表・アセアン  
管掌・サハリン石油開発専務取締役④  
東大法⑤金融取引・海外法務・危機  
管理・経営企画・グループ会社経営・  
営業企画・開発・推進

〔6月入会〕

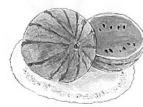
大貫 俊一 ①45年②東京③東海銀行  
情報開発部長兼新空港対策室長・東海  
ビルメンテナンクス社長・東海ファシリ  
ティサービス社長・ティーファース社  
長④一橋大⑤物流ロジスティックス・  
経営企画・企業再生

佐藤 和恵 ①43年②東京③昭和大学  
医学部第一解剖学客員教授・東京工科  
大学バイオニクス学部兼任講師④富山  
大薬学⑤医薬

田部 揆一郎 ①38年②東京③三菱油  
化取締役・三菱化学エンジニアリング  
常務・三菱商事化学プラントユニット  
顧問④米國MIT化学工学⑤経営企  
画・事業商品企画

薬師寺 弘正 ①44年②東京③住友信  
託銀行常務・住信証券社長・住信保証  
社長・東西土地建物監査役④慶応大経  
⑤IR・金融取引・監査・グループ会  
社経営・経営企画

後藤 信誓 ①46年②千葉③近畿日本  
鉄道・天王寺都ホテル総支配人・志摩  
観光ホテル総支配人・近鉄ホテルシス  
テムズ常務④京都市大⑤ホテル営業・  
管理



4年前に会社を退職したときに、  
紹介されたのがダイレクトフォース  
でした。

長い間外食の道を歩いてきた私と  
しては、同じ道のコンサル業務でお  
役に立てればという思いでしたが、  
入会して数ヶ月後、合田さんから  
「大学での特別講義をしないか」との  
誘いを受けて、他の会員  
の皆さんと一緒にシリ  
ーズ講義に参加させてもら  
いました。その後、とき  
どき出講の機会をいただき「外食」  
をテーマに学生たちとの触れ合いを  
続けています。

今の学生たちのアルバイト先は8  
割が外食とコンビニだそうで、外食  
を身近に感じるせいか話をよく聞い  
てくれます。話の内容は、ホスピタ

〔7月入会〕

守屋 雅夫 ①44年②東京③キュービ  
ー技術本部長兼生産副本部長兼知的財  
産部長・中国杭州丘比食品有限公司董  
事長総経理④東京水産大⑤研究開  
発・生産技術・工場運営・品質管理

原 得郎 ①43年②神奈川③大日本イ  
ンキ化学工業国際事業本部長・上海D  
IC国際貿易有限公司総経理・無錫D  
ICエポキシ有限公司総経理④早大第  
一法⑤人事・調査・監査・経営企画・

営業企画

山口 尚 ①43年②東京③朝日生命財  
務部長・あおば生命社長・朝日生命監  
査役・関東電化工業常務④東北大⑤  
経理・監査



リティを中心に、最近では食育の話  
を取り上げています。

ところで、最近の世相ですが、若  
者の犯罪が多くなり、しかも低年齢  
化の傾向にあります。自分の都合だ  
けで相手を思う気持ちに欠けた若者  
たちです。戦後の教育に問題があつ  
たのかもしれませんが、しかしそれ

大学講義は若返りの妙薬

東

以上に、家庭での子ども教育や食事  
のあり方にも問題があるのではない  
でしょうか。

私は、大学の講義で「相手を思う  
気持ち」相手の立場にたつての気配  
り」を大切にするとホスピタリティ精  
神の醸成について、特に力を入れて

話をしています。

学生のマナーを見てみると、人数  
は少ないのですが、30分遅刻しなが  
ら平気な顔をして入ってくる、うし  
ろの席で私語が絶えない、そういう  
時間にルーズで他人への迷惑を考え  
ない学生には遠慮なく叱ることにし  
ています。

泰秀

ともあれ、若い学生たち  
に向かつて話をし、笑うと  
ころは笑い、うなずくとこ  
ろはうなずいてくれる、そ  
ういう反応が返ってくると嬉しくな  
ります。最近少し若返ったかなと自  
分でも思うようになり、学生には

「私もそろそろ70歳だが、気持はトウ  
ネットッテ60歳」と言っています。  
大学講義は若返りの妙薬なのかもし  
れません。